

ハンディ型比抵抗計の使い方

ハンディ型比抵抗計に求められる役割

- 純水製造装置に水質表示機能が無いとき

校正の取れたハンディが水質を決めるため、校正された計器を使用する必要があります。

- 比抵抗計の指示値が変化したとき

校正の取れたハンディと比較することにより、比抵抗計が設置されている配管ラインの水質に異常が無いか確認します。

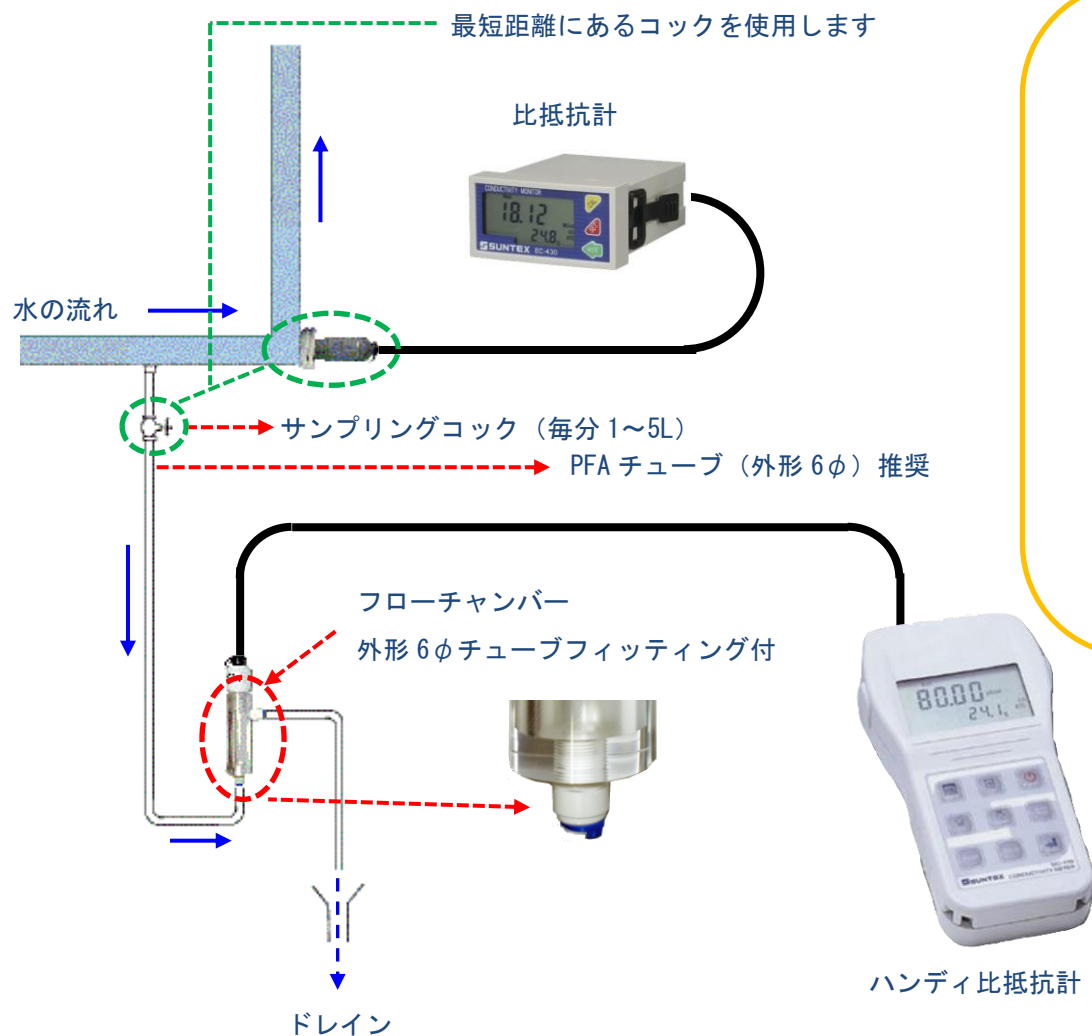
表示値が正常な場合、前段側の水質を確認し、イオン交換樹脂などの材料劣化を特定するために使用します。

- 比抵抗計の精度低下における水質確認

校正の取れたハンディを使用することにより、日々の水質検査やプラントに設置されている比抵抗計のメンテナンス時期を管理することができます。

本製品は、NIST トレースの取れたフォックスボロー社基準比抵抗計により測定、トレースが取られています。届いたその日から純水の比抵抗測定を行えます。

現場における測定比較方法



校正されたハンディ導入による効果

導入前	イオン交換樹脂の劣化・計器の異常など判断できない
導入後	原因の特定が可能
効果	日常の水質検査や緊急時に最適

製品のお問い合わせ先：技術営業部 3 課 サンテックス製品技術営業

メール toiawase@tactec.co.jp

電話：0297-83-0721